

推薦の言葉 長堀 優	3
推薦の言葉 森 裕平	7
はじめに	10

第一章 平成三十年、戊年を読み解く

建替え建直しの岩戸が開かれる歳

「時（トキ）」とは「答」えの「基」	27
「平成三十年」の深意を読み解く	29
「西暦2018年」を読み解く	34
「戊年」の深意を読み解く	36
「花咲命の時代」がやって来た	39
「コトハ光透波」が世に出る時が到来	40
霊主体従の時代を預言する日月神示	43
日本の国柄と本質を読み解く	46

第二章

言葉には限りない救いの力がある

言葉の不思議さに気付きませんか……………53

言葉を解けば謎は明らかにされる……………54

幸せをもたらす「光の言葉」……………58

人は霊的には送受信器……………61

思考はチャネル機能を持つ……………62

思考を超えて言葉は自由に使える……………63

「言霊」とは言葉のエネルギー……………65

引き寄せの法則……………66

第三章

思考は過去の体験に支配されている

顕在意識と潜在意識……………73

言葉と思考は車の両輪……………75

過酷な前世体験で顕在意識は病んでいる……………77

物質的な力が支配する地球世界……………79

厳しい修行、輪廻転生の意義……………82

第四章 全ては波動によって生じている

聖書の言葉と一致する現代科学の見解	89
言葉は人類だけに与えられた	90
最初の言葉はエネルギーに満ちた「言葉」	92
人類文明の奥には言葉の力が脈打つ	94
音は森羅万象を生み出した根源的な力	96
音の元素の数は50音でした	98

第五章 文化文明の根源には言葉が機能している

人間の人間たる所以は言葉を持つこと	105
「意」を字割する	107
「神」の姿は「無」でした	111

第六章 小田野早秋女史により啓かれた光透波

言葉の国・日本に光透波が出現	117
小田野早秋女史と光透波誕生の経緯	119

第七章

人智を超えた霊的導きで光透波は啓かれた……………122
始めの言葉Ⅱ詞、後の言葉Ⅱ語……………125

宇宙は光透波コトハのエネルギーで創られている

光透波はこれからの時代の最高思考様式……………131
「観音言」Ⅱ文字の深意を読み解く字割……………132
「光」・「透」・「波」を字割する……………133
命波学で捉えた宇宙の実相……………137
最新の宇宙物理学も光透波エネルギーEを暗示か？……………140

第八章

幸せは「光の言葉」を活用すれば掴める

コトハのエネルギーの活用法を再度提唱……………149
「思考」を字割すると……………150
思考は霊的な干渉も受けている……………151
思考が形成される全体像……………156
心のコントロールは至難……………158

第九章

「千」の回数には力がある	160
光透波エネルギーの活用ポイント	163
思考を超えて自由に使える言葉を活用	167

文字の奥には秘められた真理がある

命波学の字割で文字から学ぶ	171
宇宙の実相を証す「實」と「裏」の文字	176
言葉の力はビュアな心に強く反応する	179
避けなければならない言葉	180
言葉エネルギーをチャート化して整理	182

第十章

言葉のエネルギーによる治病の原理

「心の持ち方」「身体の使い方」「環境」に左右される	187
光透波↓エネルギー↓波動↓森羅万象	188
電気的法則で支配されている宇宙	192
自然界は電磁気力により動いている	198

言葉の電氣的性質を推理する	201
健康状態の電氣的性質を推理する	202
電氣的視点で捉えた「言葉」と「健康状態」	204
第十一章 文字が教えてくれる幸福への道	
嘘の言葉は波動を落し魔の好餌に	209
心の持ち方を論ず文字の数々	212
第十二章 宗教・哲学・科学を字割で読み解く	
人間は言葉を駆使して生きている	219
「宗教」の実態を問う	221
「哲学」で救いの道は開かれるか?	225
「科学」の実態を考察する	229
第十三章 行詰った人類は原点に回帰すれば救わる	
世界人類を救う究極の指導理法Ⅱ光透波理論	235

言葉の乱れて世界人類は破綻の危機に……………237

人が為す「偽」^{いつわり} Ⅱ 五割では救われず……………239

抜本的な解決策は言葉の浄化……………241

原点に帰らねば救いの道は無し……………245

第十四章

21世紀に入つて開かれる弥勒^{みろく}の世界

理想世界の実現は数々預言されていた……………249

21世紀は「Uターン」の時代……………250

人類の命が革^{あらた}まるのは21世紀中……………254

創造主のご意図に戻るところに救いの道が……………255

閑暇休憩……………260

第十五章

神界からのメッセージ

「神から人へ(上巻)」より……………273
1999年9月28日……………

第十六章

光透波は物心調和の世界を開く根本哲理

目次

カバ―写真
熊谷淑徳

人の意識の向上には言葉の浄化が求められる……………	281
救いの道は「言葉の原点」に戻ること……………	283
光透波（コトハ）こそ昼の時代を導く絶対性原理……………	286
「光の言葉」とともに必要不可欠な最善の努力……………	290
おわりに……………	294